

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

I. 理念に基づく運営	11
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	2
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	6
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	11
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	30

事業所番号	3970500272
法人名	株式会社 エム・シー・エス四国
事業所名	愛の家グループホーム土佐蓮池
訪問調査日	平成20年10月16日
評価確定日	平成21年1月6日
評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会

○項目番号について
 外部評価は30項目です。
 「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。
 「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。
 番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

○記入方法
 [取り組みの事実]
 ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。
 [取り組みを期待したい項目]
 確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。
 [取り組みを期待したい内容]
 「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

○用語の説明
 家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
 家族 = 家族に限定しています。
 運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。
 職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。
 チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	3970500272
法人名	株式会社 エム・シー・エス四国
事業所名	愛の家グループホーム土佐蓮池
所在地 (電話番号)	高知県土佐市蓮池1227-2 (電話)088-828-5070

評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会		
所在地	高知市朝倉戊375-1高知県立ふくし交流プラザ内		
訪問調査日	平成20年10月16日	評価確定日	平成21年1月6日

【情報提供票より】(平成20年9月21日事業所記入)

(1)組織概要

開設年月日	平成16年1月5日		
ユニット数	3 ユニット	利用定員数計	27 人
職員数	21 人	常勤19(内兼務3)人、非常勤2人、常勤換算11.2人	

(2)建物概要

建物形態	併設 単独	新築 改築
建物構造	鉄骨造りALCタイル張り	
	3 階建ての	1 階 ~ 3 階部分

(3)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	60,000 円	その他の経費(月額)	21,000 円	
敷金	有() 円	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有 100,000 円 無	有りの場合 償却の有無	有 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり		950 円	

(4)利用者の概要(9月21日現在)

利用者人数	27 名	男性	5 名	女性	22 名
要介護1	6 名	要介護2	6 名		
要介護3	5 名	要介護4	7 名		
要介護5	3 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 85.1 歳	最低	72 歳	最高	100 歳

(5)協力医療機関

協力医療機関名	伊与木クリニック、近森病院、白菊園病院、愛宕病院、福島歯科医院
---------	---------------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

開設5年目になるホームで、土佐蓮池公園の近くの閑静な場所に建っている。庭には大きな花びらのコスモスが咲き、ホーム内部は清潔感が漂っている。3ユニットの入居者27名の内10名が車椅子を利用しているが、散歩や外出の機会が多い。入居者の口腔ケアを丁寧に行うことで、ミキサー食だった方が普通食になるなど、食べる事を大切にケアを実践している。管理者は4月に異動したばかりであるが、管理者を中心にして職員のケアへの熱い思いが感じられ、地域との連携を図る取り組みも行っており、住みなれた地域で利用者がいままでの生活を継続できるホームになりつつある。今後に期待を抱かせるホームである。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回指摘のあった改善課題のうち、職員参加の評価への取り組みや運営推進会議への報告の記録、終末期の指針、同意書などは改善されている。しかし、職員の異動や研修会への十分な参加、防災訓練などは未だ改善されていない。出来る所から着実に改善しようとする姿勢が窺えたので、今後の取り組みに期待したい。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	職員が項目ごとに記入し、リーダーと管理者とでまとめ、全員で自己評価に取り組んでいる。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	事業所からの行事報告、前回評価の改善点の報告、今後の行事のための情報収集や取り組み方針、防災訓練、管理者交代などの報告を行っている。討議結果を基に町内行事へ参加するなど、運営推進会議での討議を生かした取り組みを行う姿勢が窺われる。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	家族会があり、敬老の日には各ユニットで趣向を凝らした行事を行い、家族の参加も多い。また、面会も多く家族との関係は良好である。家族の意見や要望も出し易く、内容を記録して課題の検討を行い、今後のサービスの質の向上に反映しようとする姿勢が窺われる。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	町内会が組織されていないが、地元消防団にホームの一部を訓練場所として提供したり、近所の住民と花の苗のやり取りをしたり、ホームの納涼祭に地元の方に来てもらったり、地域に溶け込み、連携を図る努力をしている。

2. 評価結果（詳細）

（ 部分は重点項目です ）

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	<input checked="" type="checkbox"/> 地域密着型サービスとして、独自に作り上げられた理念がある。 地域とのふれあいを大切にされた独自の理念を作っている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 理念について職員間で話し合いの機会をもち、意識づけがされている。 各スタッフルームに理念を掲げ、毎日のミーティングで唱和し、理念の実践に対する意識付けを行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 日々のサービスの提供場面(言葉かけ、態度、記録等)において、理念が反映されている。 職員の態度はゆつくりと穏やかで、利用者を大事にした支援を行っており、理念を実践する様子が窺われる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	<input type="checkbox"/> 地域住民の一員として、町会、自治会等に参加している。 町内会が組織されていないが、地元消防団への寄付、消防団の訓練場所としてのホームの非常階段の使用など、地域との連携を図っている。 <input checked="" type="checkbox"/> リサイクル活動や行事など地域活動の情報を集め、それらに参加するなど、接点を持つ努力をしている。 保育園や小学校の運動会への参加、ホーム主催の納涼祭への地元住民の招待など、地域との接点を持つ努力をしている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> サービス評価を実施するにあたり、評価の意義とねらいについて運営者、管理者、職員で話し合い、全員で自己評価に取り組んでいる。 職員が項目ごとに記入し、リーダーと管理者でまとめ、全員で自己評価に取り組んでいる。 <input checked="" type="checkbox"/> 評価で見出された課題について改善計画を立て、その実施に取り組んでいる。 改善シートを作成し、課題の改善に向けて前向きに取り組んでいる。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<input type="checkbox"/> 会議では、事業所からの報告とともに参加メンバーから質問、意見、要望を受け、双方向的な会議となるよう配慮している。 参加者が少なく、事業所からの報告が主になりがちであり、双方向的な会議には至っていない。 <input checked="" type="checkbox"/> 評価で明らかになった課題について会議で報告し、改善に向けて取り組んでいる。 運営推進会議で報告し、改善に向けて取り組んでいる。	○	運営推進会議では報告や単なる情報交換に留まらず、話し合いを通じて色々な立場のメンバーから素直な意見をもらい、それをサービスの向上に活かしていくことが重要である。今後もメンバーに参加を呼びかけ、また、会議のテーマを決め話し合うなど、会議の開催方法に一工夫することを期待したい。
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	<input type="checkbox"/> 市町村職員の研修場所として事業所を活用してもらったり、また市町村担当窓口に対して、事業所の実情やケアサービスの取り組みを折に触れて伝えるなど交流を図っている。 市の研修に参加はしているが、市職員の運営推進会議への参加は少なく、十分な市との連携には至っていない。	○	運営推進会議への参加等を通じて、市との交流を活発化することを期待したい。
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 家族等の来訪時には声をかけ、利用者の状況や家族のことについて話し合っている。 週1~2回面会に来る家族もいるなど家族の面会が多く、その際、話し合いも行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者の事業所での暮らしぶりやエピソードなど、手紙や写真等で伝えている。 各ユニットで工夫し、「蓮池ふれあい広場」や「ほほえみレター」を家族に発送し、ホームでの暮らしぶりを伝えている。 <input checked="" type="checkbox"/> 心身の状況について、何らかの変化や問題が起きた時に必ず報告している。 電話などで報告している。 <input checked="" type="checkbox"/> 金銭について使途の確認や金銭出納帳等を明示し、その都度あるいは定期的に報告している。 月末締めで報告し、家族の確認印またはサインをもらっている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<input checked="" type="checkbox"/> 家族会や家族同士の集まりの場で意見を出せるような仕組みを作っている。 家族会があり、また、来所時にも話を聞くなど意見の出せる仕組みを作っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 苦情への対応で終わりではなく、その苦情の発生要因を探り、課題を検討し、質の向上をめざす取り組みをしている。 苦情の記録があり、課題を検討し、今後のケアの質向上に反映しようとする姿勢が窺われる。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	<input type="checkbox"/> 利用者にとって馴染みの職員が継続的に支える体制となっている。 退職者が続き、職員の異動も多く、継続的な馴染みの関係になっていない。 <input type="checkbox"/> 職員が代わる時は、引き継ぎの期間を十分に取り、スムーズに移行できるように配慮している。 急な退職など、引き継ぎ期間が十分取れない時がある。	○	職員の異動が多いのは利用者や家族に不安を与えることとなる。馴染みの環境で、利用者の性格を十分把握した職員がケアにあたることで、利用者の生活の安定が得られるので、職員の継続した支援体制が取れるように配慮することを期待したい。
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<input type="checkbox"/> 日常的に学ぶことを推進し、パート職員にもチームの一員として、研修・会議等参加の機会がある。 研修計画はあるが、参加の機会は少ない。 <input checked="" type="checkbox"/> 全職員が共有できるよう、研修内容を報告する機会を作っている。 研修結果はユニットごとの月1回の職員会で報告している。	○	現時点では職員の退職が続き、人員確保の面で研修参加が困難という事情もあるが、ケアの質向上のためにも、研修は必要である。法人と連携を取り、研修に参加しやすい体制作りを期待したい。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	<input type="checkbox"/> 県内、全国組織の同業者ネットワークに加入し、サービスや職員の質向上につなげている。 事業所としては現在県内、全国組織共に加入していないが、法人本部が全国組織に加入しており、情報の収集には努めている。 <input type="checkbox"/> 管理者・職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、職員のサービスや質向上に努めている。 交流の機会が少ない。	○	全国で約90箇所のグループホームを運営する法人を母体としたホームなので、本部主催の研修は受けているが、地域の同業者との情報交換や勉強会なども、日々のケアを実践し質の向上を図る上で必要なものであり、今後の課題として取り組みを期待したい。
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	<input checked="" type="checkbox"/> 入居希望者の入居に際し、その者の心身の状況、生活歴、病歴等の把握に努めるとともに、本人、家族等の意向も確認している。 初回面談時に十分な話し合いを行い、本部作成のアセスメントシートも活用して、ニーズの把握等に努めている。 <input checked="" type="checkbox"/> 本人や家族に事業所の見学や体験をしてもらっている。 希望があれば昼食やおやつを共にして、本人や家族の見学や体験を実施している。 <input checked="" type="checkbox"/> 入居希望者には、複数の職員が面接を行っている。 管理者、介護支援専門員、フロアリーダーで面接を行っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係	<input checked="" type="checkbox"/> 日々の生活場面の中で、支援する側、される側という認識は持たず、お互いが協働しながら和やかな生活ができるような場面作りがある。 洗濯、庭の花や畑の手入れ、雑巾縫いなど、日々の営みのなかでその人の出来る事を大切に支援を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 職員は利用者と共に暮らす者同士として、「哀しみ」、「不安」、「喜び」、「楽しみ」などの本人の思いを共感し、理解している。 その人が歩んできた人生の中で楽しかった事や悲しかった事などを聞き、今の気がかりな事や楽しみな事なども探り、本人の思いを大切に支援を心がけている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの思い・暮らし方の希望・意向の把握に努めている。 利用者との日々の会話を大切に、会話の中から希望や意向を汲み取るように努めている。 <input checked="" type="checkbox"/> 意思疎通が困難な方には、ご家族や関係者から情報を得るようにしている。 利用者の表情や仕草から思いを汲み取ったり、家族からも情報を得るようにしている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	<input checked="" type="checkbox"/> 本人やご家族等からの気づき、意見、要望等を反映した介護計画が作成されている。 来所時や電話で家族の意向を聞き、本人や家族の意見、要望を反映した介護計画を作成し、同意の印やサインももらっている。 <input checked="" type="checkbox"/> アセスメントを含め職員全員で意見交換やモニタリング、カンファレンスを行っている。 月に1回のケアカンファレンス、見直し時のモニタリングを職員全員の気づきや意見を基に行っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
16	37	<p>○現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>介護計画は、設定された期間ごとに見直しされている。</p> <p>3か月ごとに見直しを行っている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>ワンパターンの期間設定ではなく、本人、家族の要望や状態に変化が生じた場合には、その都度見直し、計画内容に応じた個別の期間設定をしている。</p> <p>退院後でレベル変動がある場合には1カ月で見直すなど、個人の体調や状態に応じた期間設定を行っている。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
17	39	<p>○事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>医療機関と連携して、医療処置を受けながら事業所で生活が継続できるように努めている。</p> <p>協力医療機関の週1回の往診、3週に1回の訪問看護のほか、看護資格のある職員も置き、医療処置を受けながら事業所で継続して生活ができるように努めている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>本人、家族の状況に応じて、通院や送迎、特別な外出、外泊などの支援を行っている。</p> <p>通院や緊急の外出に職員が同行するなど、支援を行っている。</p>		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
18	43	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>いままでのかかりつけ医や本人・家族等が希望する医療機関・医師に受診できる支援ができています。</p> <p>往診を含め希望する医療機関や医師に受診できる支援を行っている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>受診や通院は、本人やご家族の希望に応じて対応している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>受診結果に関する情報の共有ができています。</p> <p>往診ノートがあり、本人の状態が伝わる仕組みとなっている。また、受診結果は個人ファイルに保存して情報の共有を行っている。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
19	47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>終末期の対応方針を定め、家族・医師・看護師を交えて話し合いを行っている。</p> <p>終末期の指針を定め、家族から同意書もとっている。また、利用者の状態に合わせて関係者で話し合う仕組みも作っている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>本人や家族の意向を踏まえ、医師、職員が連携をとり、安心して納得した最期を迎えられるように取り組んでいる。</p> <p>本人や家族の意向を大切にし、状況に応じて連携を図り、取り組みを行う体制となっている。</p>		
<p>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1)一人ひとりの尊重</p>					
20	50	<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>人前であからさまに介護したり、誘導の声かけをして、本人を傷つけてしまわないように、目立たずさりげない言葉かけや対応に配慮している。</p> <p>個人の尊厳を損ねるような声かけはなく、一人ひとりの誇りやプライバシーに配慮している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>他の家族や外来者に対して、職員が利用者のプライバシーに関する話を話さないことを徹底している。</p> <p>毎月の職員会で職員に徹底し、プライバシー保護に努めている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>全ての職員が、個人情報保護法の理解に努め、徹底されている。</p> <p>採用時に雇用契約書に明示し理解に努め、その後、職員会等でも理解を深める取り組みを徹底している。</p>		
21	52	<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>一人ひとりが「その日」にどのように過ごしたいかを把握し、それに応じて柔軟に支援している。</p> <p>利用者一人ひとりの気持ちを把握するようにし、外出好きの人に合わせて一緒にアンパンを買いに行ったり、近隣を散歩するなど、利用者の状態に合わせた柔軟な支援を行っている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>事業所の業務スケジュールに利用者の生活を合わせていない。</p> <p>食事をゆっくりしたい人のペースを大切にした支援や急な買い物希望者への対応など、利用者の生活リズムを大切にした支援を行っている。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>献立づくりから調理、片付けに至るまで、食事に関する一連の流れを職員が一方的に進めるのではなく、利用者の意志や気持ちを大切に進めている。</p> <p>週3回のおやつ作り、野菜のしたごしらえ、配膳、下膳、食器洗いなど、本人の出来る事を大切に支援を行っている。また、ユニットによっては晩酌を楽しむ人もいる。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>職員は食事の介助にとどまらず、利用者と職員が同じものを一緒に食べている。</p> <p>同じテーブルで、さりげなく介助をしながら、同じ物を一緒に食べている。また、自分で食べる事を大切にしており、時間をかけて食事をする利用者もいる。</p>		
23	57	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>利用者のこれまでの生活習慣や希望にあわせて入浴できるよう、職員勤務体制等について工夫をしている。</p> <p>ユニットによっては二人介助の入居者がいるので、職員体制を工夫して対応するなど、希望に合わせた入浴支援を行っている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>入浴を拒む人に対しては、言葉かけや対応の工夫、チームプレー等によって一人ひとりにあわせた入浴支援を行っている。</p> <p>入浴を拒否する利用者には、言葉かけを工夫するなどして入浴回数を増やす努力をしている。</p>		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	<p>○役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>何がその人の役割、楽しみごとになり得るかを把握し、食事作りや庭木の剪定など利用者の経験や知恵を発揮する場面を作っている。</p> <p>畑作りや干し柿作りで教えてもらう場面を作ったり、カラオケの好きな人と一緒に近所のカラオケボックスに行って楽しむなど、経験を発揮したり楽しみごとができる支援を行っている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>一人ひとりの役割、楽しみごと等を作り出すため働きかけを行っている。</p> <p>絵の好きな人に働きかけ、時間をかけて大人の塗り絵を独特の色彩で仕上げ、その作品がオールドパワー展で入賞するなど、楽しみごとを作り出すための働きかけを行っている。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
25	61	事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 近くへの散歩だけではなく、その人の馴染みの店や場所へ出かけている。 近所の美容院、喫茶店、本屋など馴染みの場所へ出かけている。 <input checked="" type="checkbox"/> 歩行困難なケースでも、車や車いす等を利用し、戸外へ出ることを積極的に行っている。 ホーム全体で、車椅子利用者が10名と多いが、出来るだけ戸外に出るように心がけている。 <input checked="" type="checkbox"/> 日常的に散歩、買い物あるいはドライブ等に出かけている。 近くの公園への散歩、月1回の外食、季節ごとの花見など、日常的に外出支援を行っている。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 居室や日中玄関に鍵をかけていない。 基本的に、日中玄関には施錠していないが、ユニットによっては、時間帯や職員体制によってユニットの入り口に施錠する場合がある。 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者一人ひとりの外出の習慣や傾向を把握して、対応している。 一人ひとりの習慣を把握しており、一緒に行動するなどして対応している。 <input checked="" type="checkbox"/> 近所の人にも理解を求め、見守り、声かけや連絡をしてもらえる関係を築いている。 散歩の時に顔見知りになった近所の人が声かけをしてくれたり、近くの協力病院の職員から連絡があるなど、見守りや声かけをしてもらえる関係が出来ている。		一時的に施錠する時があるユニットでは、家族に説明し了解もとっているが、鍵をかけられた利用者の心理状態を考慮し、時間帯による職員体制など種々の問題を解決し、鍵をかけずとも安全に過ごせるようになる工夫を重ねていく事が求められる。
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	<input type="checkbox"/> 事業所だけの訓練ではなく、地域住民の参加、協力を得ながら避難訓練等を定期的に実施している。 年1回救急救命法の研修を受け、ホーム全体や各ユニットごとに、消防署と連携した訓練を実施しているが、地域住民の参加や協力を得るまでには至っていない。 <input checked="" type="checkbox"/> 避難路の確保(整理整頓)や消火器等の設備点検を定期的に行うとともに、非常用食料・備品を準備している。	○	車椅子や重度の入居者が多く、非常時には地域の人の協力が不可欠となるため、地域住民の協力を得た避難訓練を実施することを期待したい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>一人ひとりの一日の栄養摂取総量や水分量を把握している。</p> <p>チェック表で把握している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>一人ひとりの嗜好を把握し、献立に採り入れながら、栄養バランスにも配慮している。</p> <p>本部からの献立表をもとに、必要に応じて利用者の嗜好に合わせて一部献立を変更したり、キザミ食やミキサー食など利用者の状態にあった食事提供をするなどの配慮をしている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>定期的に、栄養士や保健師等に専門的な観点からチェックしてもらっている。</p> <p>本部の栄養士にチェックをしてもらっている。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>利用者にとって使いやすい配置や馴染みの物を採り入れた共用空間になっている。</p> <p>一般家庭で使用している家具を配置し、親しみやすく使いやすい共用空間となっている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>天井や壁面に掛けられた折り紙等の飾り付けが、家庭的な雰囲気を壊していない。</p> <p>大人の雰囲気のある折り紙や絵を適度に飾り、家庭的な雰囲気を作っている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>季節感のある装飾等に工夫するなど、季節感や五感の刺激にも配慮している。</p> <p>ホームの庭で咲いているコスモスを活け、柿やハロウィンのかぼちゃの折り紙などを飾り、季節を感じさせる装飾になっている。</p>		
30	83	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>使い慣れた馴染みの物を傍に置くなど、本人や家族と相談しながら個別に工夫している。</p> <p>家族や本人の写真を壁面に飾った部屋、好きな縫いぐるみがある部屋、本を沢山置いた部屋、自分で塗った絵を飾った部屋など、その人らしさを感じ、そこで生活しているのが判る居室作りになっている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>家族の協力が得られない等の場合でも、本人の意向を確認しながら、その人らしく居心地のよい居室づくりに取り組んでいる。</p> <p>職員が利用者に合わせて配慮を行い、居室作りに取り組んでいる。</p>		